

半生地完成バルサキット

オリンピック用フィルムセット説明書

この度は、オリンピック用フィルムセットをお買い上げいただきありがとうございます。本セットはオリンピックをパッケージカラーで仕上げるのに必要なフィルムとステッカーのセットとなっています。少量の余分はありますが失敗された場合には、本セットのバラ売りは有りません。もう1セット購入いただくか、Aフィルムの2m巻きを購入してください。その場合は、AフィルムAF39レッド(17329)とAF92クリーム(17335)が適合しています。

Aフィルムは製造ロットにより微妙に色が違う場合がありますのでご了承ください。また完成した後、時間が経つと紫外線による変色もありますので、墜落など修理が必要な時にも色が合わない場合があります。

フィルム貼りをする前に、この説明書をよく読み理解してから始めてください。

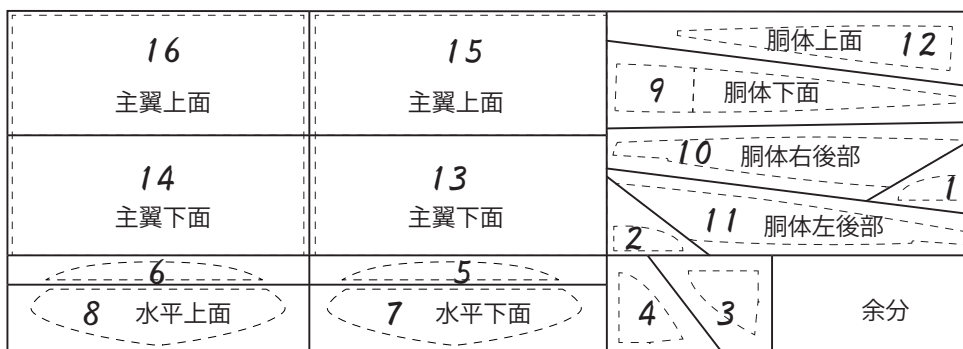
■フィルムセット内容

- (A) Aフィルム クリーム(600x1690mm)
- (B) Aフィルム レッド(600x800mm)
- (C) 伸びるステッカー ホワイト(カット済)
- (D) 伸びるステッカー ブラック(カット済)
- (E) Olympiaロゴステッカー
- (F) PILOTロゴステッカー
- ・日本語説明書

■フィルム貼りに必要なもの(別途用意してください)

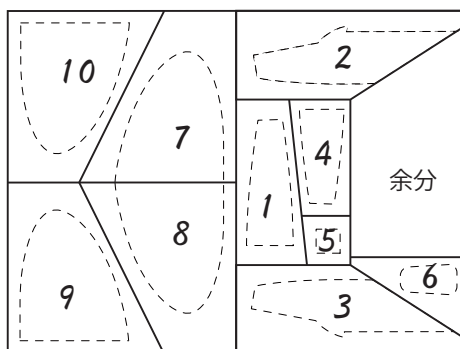
- ・カッターナイフ
- ・ハサミ
- ・セロテープ
- ・サンディングペーパー#400程度
- ・ボールペン/マジック
- ・定規
- ・Pilot VIPアイロン又はEアイロン
(模型用シーリングアイロン)
- ・アイロンソックス
- ・HDヒートガン
- ・掃除機

(A) Aフィルム クリーム(600x1690mm)



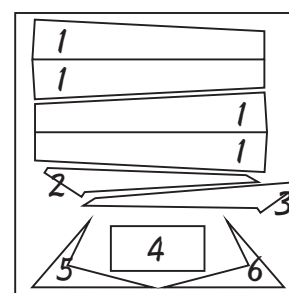
1. ラダー
2. ラダー
3. 垂直尾翼
4. 垂直尾翼
5. エレベーター
6. エレベーター

(B) Aフィルム レッド(600x800mm)



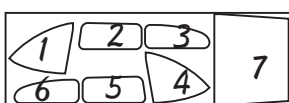
1. 機首下面
2. 機首右面
3. 機首左面
4. 機首上面
5. 機首前面
6. ハッチ
7. 翼端下面
8. 翼端下面
9. 翼端上面
10. 翼端上面

(C) 伸びるステッカー ホワイト(カット済)



1. 主翼
2. 胴体左
3. 胴体右
4. 胴体下面
5. 垂直左面
6. 垂直右面

(D) 伸びるステッカー ブラック(カット済)



1. 2. 3. 左サイド窓
4. 5. 6. 右サイド窓
7. フロントウインドー

(E) Olympiaロゴステッカー



胴体左右面および右主翼上面

(F) PILOTロゴステッカー



左主翼上面

- (1)まず、機体全体を#400程度のサンドペーパーで仕上げます。
- (2)サンディングした後、機体表面のホコリを掃除機を使って取り除きます。
- (3)フィルムの裏に描かれたカットラインに沿ってハサミでフィルムを切り分けます。
- (4)裏に書かれた番号順にフィルム貼りを進めていきます。番号の書かれていない部分は、補修用や練習用に使います。
- (5)アイロンのソール部分にソックスを被せますVIPアイロンを使用する場合には、温度設定を160℃にします。
eアイロンを使用する場合には、フィルムの切れ端(裏のビニールは剥がしておく)をアイロンに乗せてみて、縮み具合を確認しながら設定温度を決めます。



写真は説明のためソックスを使用していません。
実際の使用時にはアイロンソックスを
使用してフィルムを
貼って下さい。

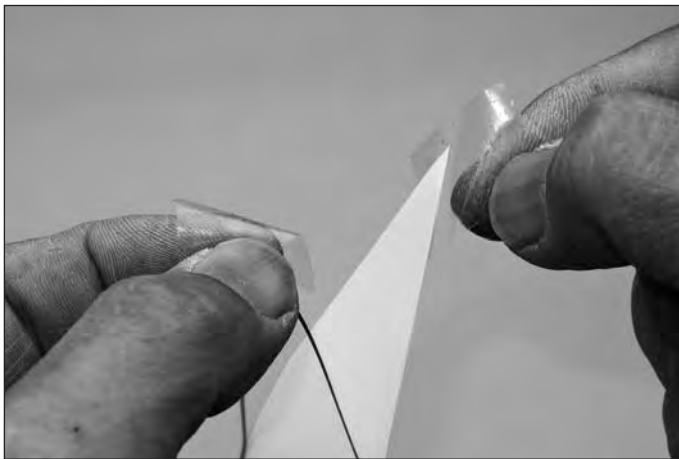
温度が高すぎる(くしゃくしゃになる)

適温(フィルムが適度に縮む)

温度が低すぎる(縮まない)

※VIPアイロンは温度を電子制御するため上下約1度で安定しますが、eアイロンはサーモスタットを使用するため上下約10度の温度変化が絶えず起こります。
また、VIPアイロンのFとRの違いは、ソール形状だけです。
好みにより選ぶ事が出来ます。

重要:フィルムをきれいに貼るにはアイロンの温度設定が大切です。かならずアイロンソックスをつけたうえで、VIPアイロンの場合は温度を160℃に、E-アイロンは(目盛3)にセットし、5分以上通電して温度が安定するまで待って下さい。フィルムの収縮温度は種類によって微妙に異なりますので、色違いのフィルムを貼る時は実作業の前に必ずフィルムの切れ端をアイロンにのせてテストしてみてください。上の写真のように適温ではAフィルムは、ゆっくりカールしはじめます。急速に縮む場合は温度が高すぎるので温度を下げ、温度が安定するのを待って新しい切れ端でもう一度チェックして下さい。



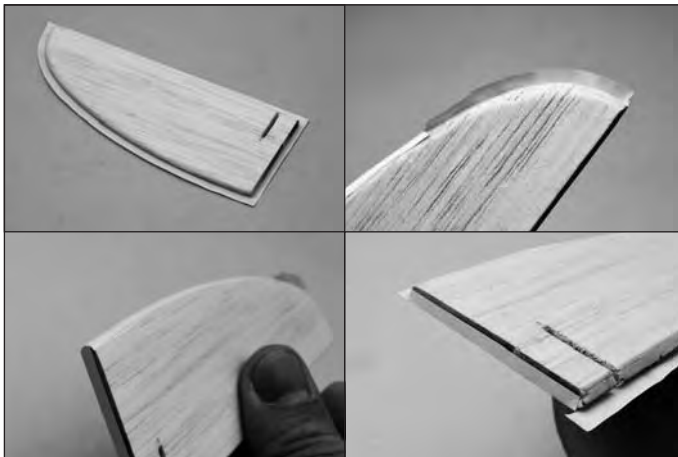
(6)Aフィルムの裏紙(透明ビニール)を剥がすには、表と裏の両面にセロテープを貼り付け、それを引っ張れば、簡単に剥がす事が出来ます。

※裏紙をはがしたのち、フィルムの表・裏(糊の付いている面)が分かりにくくなりますので、間違えないように気を付けてください。



(7)練習を兼ねて一番小さいラダーから貼っていきましょう。ラダーがフィルムの真ん中に来るように1番のクリーム色のフィルムを被せます。ラダーが動かないようにフィルムの上から端を指で押さえ、アイロンで中央から端に向かって、フィルムを一気に押さえ貼り付けます。続いて残りの半分も貼り付けます。

ラダーは、クリーム色の1番と2番を使用します。



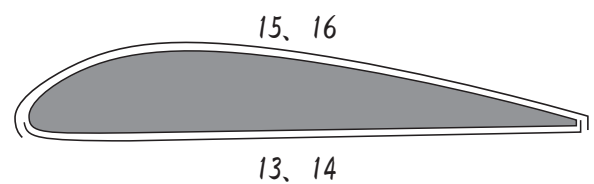
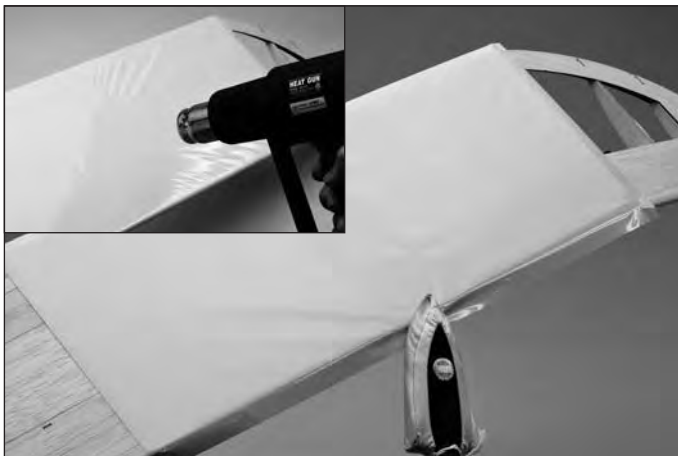
(8)ラダーをひっくり返し、フィルムをラダーの周りから約3mmのところではサミでカットします。

(9)周囲をラダーに沿って巻き込んでいきます。シワが寄るような場合は、切れ目を入れて折り込みます。

(10)同様に裏面2番のフィルムを貼ります。少しぐらいのシワは、アイロンで熱を加え続けると、フィルムが縮みます。

フィルムの番号に沿って、クリームのフィルムを貼っていきましょう。

※主翼や水平尾翼は下面から貼っていくと、重ね目が下面になりきれいに仕上がります。

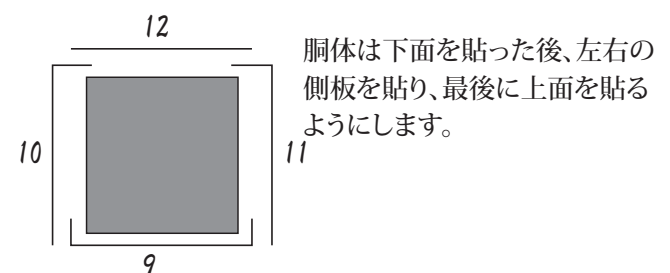


主翼はアイロンの先を使って周囲をスポットで止めます。この時フィルムをかるく外側に引っ張るようにして、シワが出来ないように止めてゆきます。シワにならないように周囲をアイロンで押さえた後、ヒートガンでフィルム全体に熱を加えて縮ませます。一部分にヒートガンで熱を集中して加えると主翼がねじれたり、最悪穴が開く可能性があります。

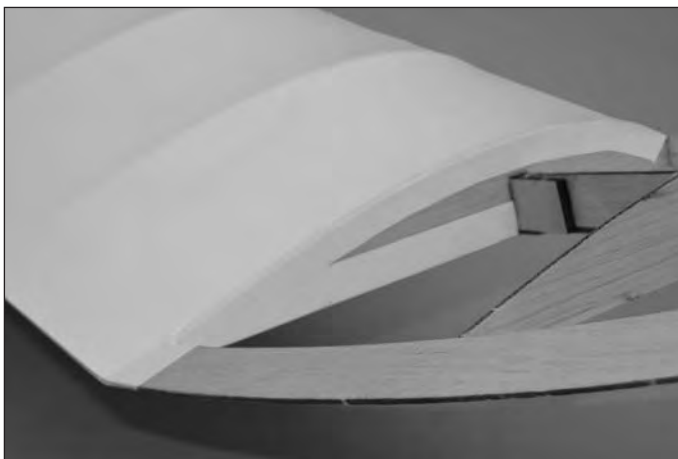
続けて、レッドのフィルムも番号順に貼っていきます。

翼端などの複合カーブ面は、フィルムを引っ張りながらヒートガンまたはアイロンでシワを伸ばすように熱を加え、圧着してゆきます。

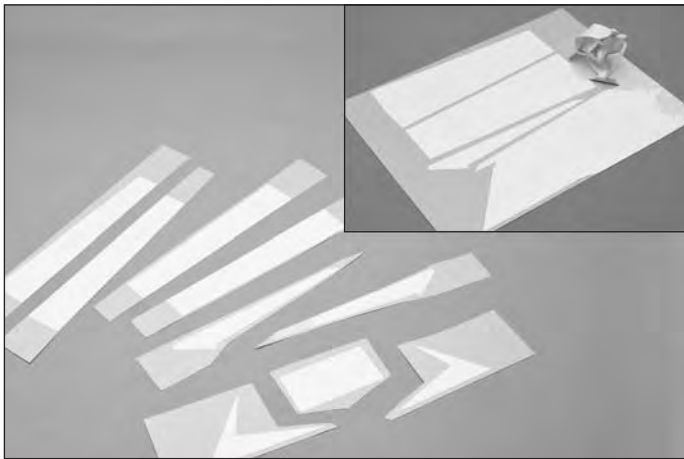
継ぎ目の部分はフィルムが3～6mm程度重なるように余分な部分をカットします。



胴体は下面を貼った後、左右の側板を貼り、最後に上面を貼るようになります。



※主翼の翼端上反角部分は、クリームのフィルムをリブに回り込ませて貼っておいてから、レッドのフィルムを6mmぐらいクリームのフィルムにかぶせて貼るようにします。重ねた部分は後で白いストライプを貼ります。

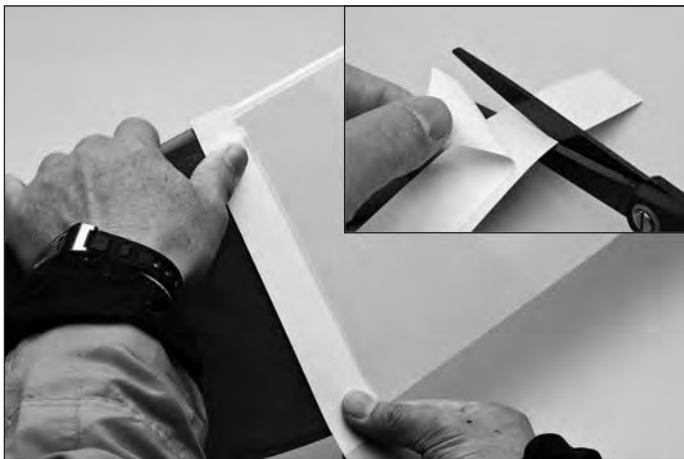


全てのフィルム仕上げが終わった後、主翼がねじれていた場合は、ねじれている方向と反対方向に主翼をヒネります。このときフィルム表面にシワが発生するので、そのシワをのばすようにヒートガンなどで熱を加えればねじれを修正できます。

(注意)

※気泡が出来てしまったら、ピンカナイフの先で突き刺し、空気を押し出すようにアイロンをあててフィルムを収縮させて下さい。

(11)ストライプの貼り方は、まず表面だけカットされたステッカーの不要な部分を剥がし捨てます。その後、ハサミでパーツごとに裏紙と一緒に切り離します。



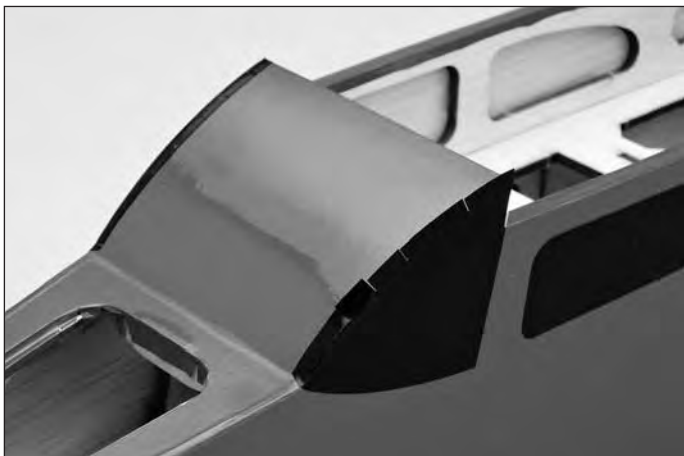
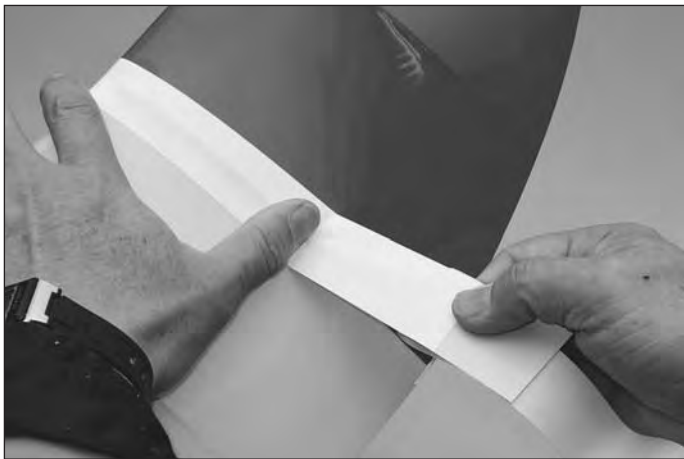
(12)フィルムと同様にストライプは下面から貼ります。裏紙は全部剥がさずに、端を10mm程だけ剥がして裏紙を切ります。そのままステッカーを主翼に乗せ位置決めを行います。位置が決まったら、裏紙をはがした部分を押さえて貼り付けます。その後、裏紙をめくりながら少し引っ張りながら、端から空気が入らないように押さえていきます。

上面は、リブが飛び出た状態になりますので引っ張り具合を加減しながら伸ばすとピッタリ合うようになります。

室温が低い場合には伸びにくいので少しヒートガンで温めると良いでしょう。

※伸びるステッカーは、熱を加えても縮みません。伸ばしすぎないように注意してください。

その他の伸びるステッカーもイラストを参考に番号順に貼っていきます。



(13)黒の窓ステッカーをイラストを参考に貼っていきます。風防の部分は左右を貼り、部分的に切り込みを入れて前側に回り込ませておきます。その後、前側を貼ります。

(14) イラストを参考にロゴステッカーを貼っていきます。

ロゴステッカーは周囲を1mmほど残してはさみで切りぬきます。

裏紙は、全て剥がさずに端を10mmほど剥がして切り取り、位置決めをした後に剥がすようにしましょう。その時も一気に剥がさずに、端から空気が入らないように押さえながら貼っていくときれいに仕上がります。

